

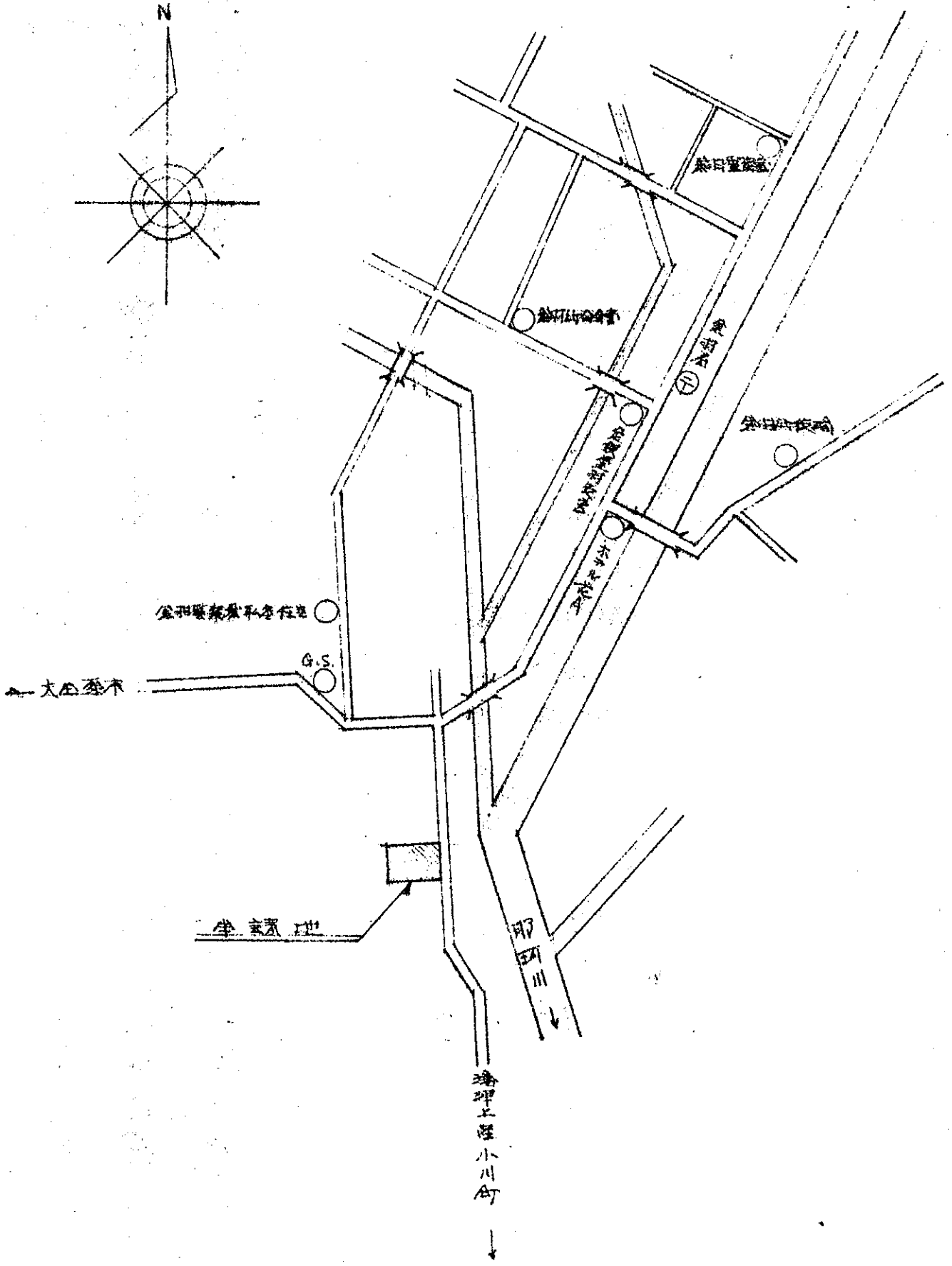
## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課



附近見取図

# 地質柱状図

(注) 1. 乱さない試料 (記号の右の数字は試料番号)

- T-1 シンウォールサンブラーによる採取
- D-2 デニソンサンブラーによる採取
- S-3 スチールサンブラーによる採取

調査件名 黒羽警察署新築工事に伴う地質調査 孔番 No. 1 標高 \_\_\_\_\_

調査場所 那須郡黒羽町大豆田 303-4 自然孔内水位 -1.20 m (基準面 \_\_\_\_\_) (7月4日測定)

調査年月日 昭和53年7月3日~7月4日 調査員 \_\_\_\_\_

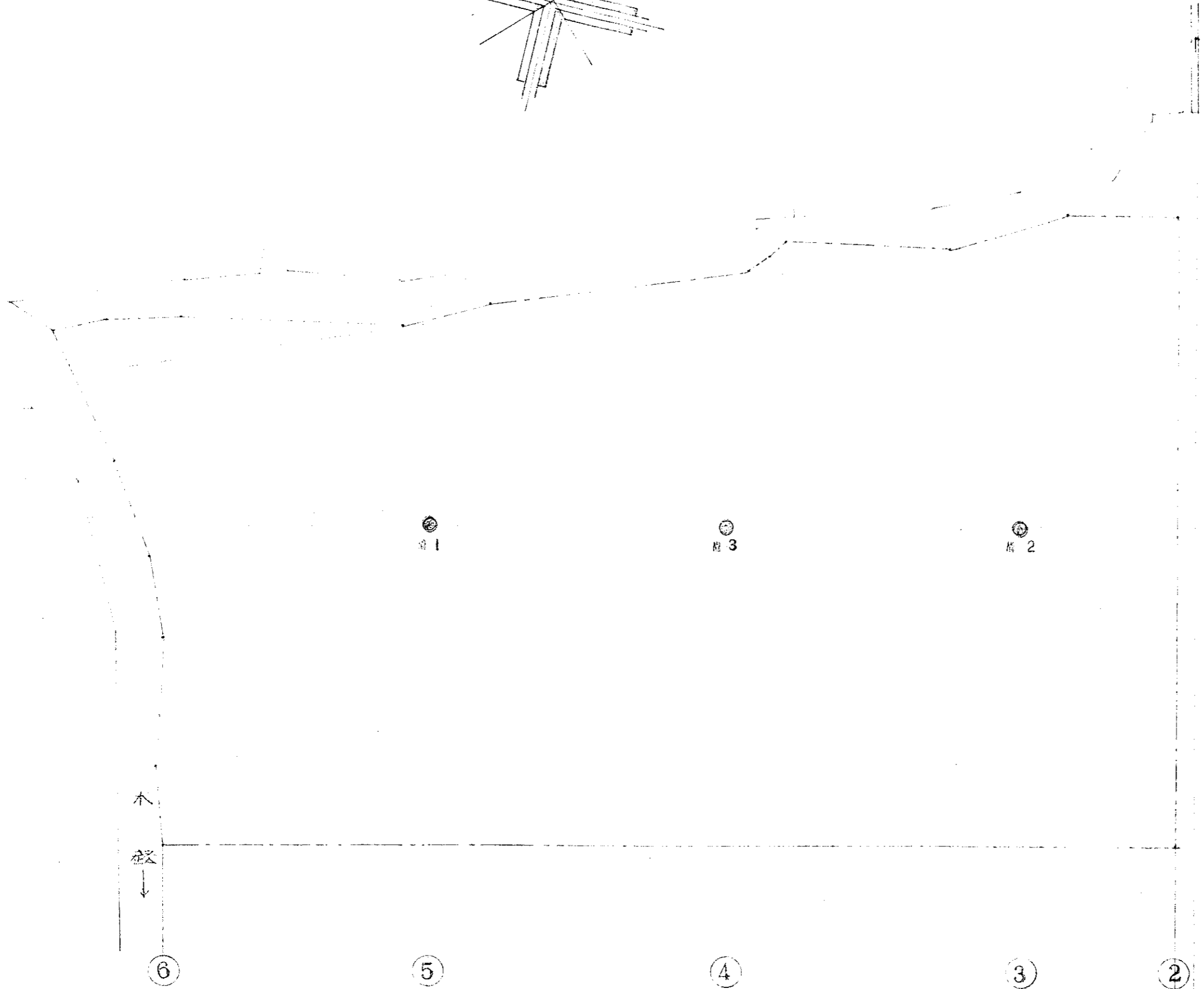
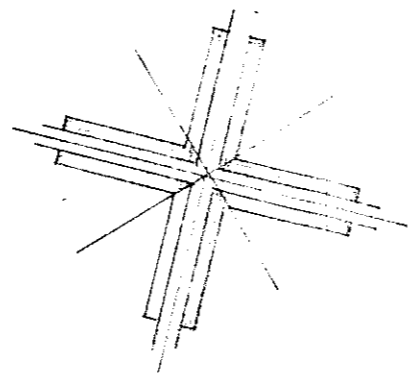
2. 試料採取深度と回収比

$\frac{4.00}{45/50}$  45/50は回収比  
 $\frac{4.50}{4.50}$

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱状 図 記 号	地 質 名	色 調	観 察	相 对 密 度	相 对 稠 度	標 本 資 料 No.	試料		標準貫入試験								
											採取 記 号	採取 深 度 m	深 度 m	N 値 回/30cm	10cm毎の 打撃回数			N 値 回/30cm			
															10 cm	20 cm	30 cm	10	20	30	40
0		0.30	0.30	▲	土																
1	1.20			○			崩壊 透水多し 玉石 最大径 500%		極	1	○	1.00	1.00	貫入 不能							×
2				○					密	2	○	2.00	2.00	貫入 不能							×
3		3.00	2.70	○	砂	暗黄褐灰				3	○	3.00	3.00	貫入 不能							×
4				○		暗 灰	上部 脆く軽石、玉石、 鉄石			4	○	5.00	4.00	貫入 不能							×
5				○			凝灰質粘板岩片状			4	○	5.00	5.00	貫入 不能							×
6				○					極	5	○	7.00	6.00	貫入 不能							×
7				○						5	○	7.00	7.00	貫入 不能							×
8				○						6	○	10.00	8.00	貫入 不能							×
9				○						6	○	10.00	9.00	貫入 不能							×
10				○						6	○	10.00	10.00	貫入 不能							×
11				○						6	○	11.00	11.00	貫入 不能							×







木  
柱  
↓

全透中心線

22.500  
22.500  
7.500

透	
1	
2	
3	
4	
5	
6	

基準地

